

信濃川下流 県が流域下水道計画示す



下水道は、時代の変化とともに都市機能の充実不可欠な身近な課題に

水質保全を広域処理で

先ほど「信濃川下流流域下水道計画」が県から示されました。この流域下水道計画とは、小千谷市以北の信濃川流域を、長岡処理区から新潟処理区まで五つの処理区に分け、各処理区で広域処理されたきれいな水を自然に戻し、水質保全を図ろうとするものです。全体計画としては、すでに下流域で着工しており、長岡処理区

さらに計画的な町政運営

三島町長 河内弘二

このたび、任期満了に伴う町長選挙におきまして、皆さまの温かいご支援とご厚情をいただき三



三期目に臨む河内町長

度、町政の重責を担当することとなり。私「和をもって尊しとなす」を座右銘とし、「公正な政治、清潔な政治、明朗な政治を信条として行動して参りました。今後とも、この政治信条のもとに、これまでの経験を生かし、新たな決意と情熱をもって、明日の三島町のため、精一杯働く覚悟であります。さて、社会経済環境

も長岡ニュータウン計画と併行して、やがて着工される予定です。三島町は、この長岡処理区に含まれ、信濃川の左岸、小千谷市から与板町までがその区域です。関係市、町では、これに対する対応とともに、各家庭からこの流域下水道を結ぶ公共下水道の整備計画の検討も、将来の課題として必要となります。このような計画が進められるの

河内町長 無投票で三選

任期満了に伴う町長選挙は、六月一日に告示されましたが、河内弘二(空選)現町長以外に立候補者がなく、八日の投票日を待たず同氏の当選が決まりました。

この諸情勢を正しく見極め、従来にも増して長期的展望に立った、計画的、総合的な町政をすすめる、住民福祉の充実と、町勢発展を図るつもりであります。

当面の課題にしましても、本年は待望の「安心して頼れる水道」の願いが実現し工事に着手したのを始め、南部保育所、中学校プール、近隣公園の建設計画、将来に対応した産業振興対策、教育施設の整備、道路、河川の改良整備等々、よりよい町づくりの事は数えきれません。

これらの達成一つにしましても、容易なことではありませんので、町民各位のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。ごあいさついたします。

は、流域住民の命の川ともいわれる信濃川を、かつての大都市周辺の河川のように「死の川」にしないように、今から積極的な方策を講じようとするものです。さらには、生活様式、時代の変化につれ、河川など地域の環境保全が、そこに生活する人々みんなの力を合わせないと実現できない重要で緊急な課題ともなっており、このためです。

「衆参同日選挙」投票用紙を間違えずに

当日は、候補者名を記入する投票用紙が三通りあるうえ、最高裁判所裁判官国民審査の投票も一緒に行われます。各投票所ではまず、衆議院議員と国民審査の投票を済ませ、次に参議院議員の地方区、最後に全国区の順で投票します。

雨の日の運転は スピードを落とす

梅雨期は、他の月の同じ雨の日の倍近くも交通事故が発生しています。雨の日は、視界が狭くなるうえ、スリップしやすいので、それだけ危険度が高くなっているのです。晴れている日より、グリーンとスピードを落とし、車間距離も十分とって運転してください。

福祉の相談 直通電話で気軽に

長岡局 ☎33-1121。ダイヤルすれば、あらゆる福祉の問題を気軽に相談できる社会福祉相談電話が三古社会福祉事務所が開通されました。

児童手当の「現況届」を

児童手当の受給者は、毎年六月一日現在の養育の状況を届けることになっています。この手続きを「児童手当の現況届」といいます。手当を受給されている方は、認印と保険証を持参のうえ、福祉係または支所で手続きをしてください。

二月から五月までの四か月分の

の手当を六月十日、受給者のそれぞれの金融機関の口座に払い込みましたのでご確認ください。

中小企業で働く人へ

住宅資金融資制度 県内の中小企業に雇用されている勤労者の住宅建設資金を県が援助する「県中小企業従業者住宅資金貸付制度」があります。貸し付けの条件は、三十万円以上、十万円刻みで三百万円まで。年利七割、十年以内の元金均等月賦償還などとなっています。

花火遊びは 大人の監視のもとで

花火は、子供の楽しい遊びですが、取り扱いを誤ると、人身事故や火災の原因にもなる。凶器が一変します。花火の場には必ず大人が付き添い、あらかじめ明るい所で使用するの注意をよく読んでから始めるようにしてください。

町政縮小

天保十三年(一八三二)中屋庄兵衛は郷里脇野町に帰郷、鋳造業を創業した。当時、原材料は塊状の玉鋼で、一定の形でない。鋳を作るにはまず木炭をたいている

玉鋼と炭のルート 八田 国雄 三条五十嵐川の合流点で陸揚げされた。嘉永六年(一八三三)鉄材を専門に扱う業者が出現したといわれている。当時、新潟から三条へ通ずる船道は、与板を経て長岡へ通じ、その支流である黒川船道も開発され

現在町では、佐渡産の松炭が用いられているが、当時脇野町の鍛冶は、大積村三島谷(長岡市三島谷町)方面で産出された鋼材とともに三条の松炭が利用されたといえる。

造林推進と緑化を誓う

蓮花寺地内で「中越地方植樹祭」

「中越地方植樹祭」が、五月十二日、蓮花寺地内の通称中条山で行われました。会場は、前日からの雨が開会直



知事表彰を受ける安達保氏

前まで残るあいにくの状態でしたが、地元選出の県議員をはじめ管内各市町村から林業関係者など三百五十人ほどが早くから続々と詰めかけました。植樹祭は「森林の公益的の使命を再認識して、造林の推進と環境緑化に一層力を入れ、緑豊かな県

頼もしい訓練ぶりひろう

消防団春季演習

町消防団恒例の春季演習が五月二十五日、午後一時三十分から三島中学校で行われました。キビキビとした、頼もしい訓練ぶりが見られました。

今回退団された元井忠栄前自動車通関の不完全な当時、いかなるルートで運ばれたのであろうか。玉鋼は出雲地方の産で、三条鍛冶の説によれば、秋田、新潟から日本海沿岸を下関に至り、瀬戸内海を経て大阪、堺に達する運上米輸送の帰り荷として新潟に運ばれ

土を築こう」という宣言の採択が始まり、造林推進に大きな功績のあった中部森林組合長安達保氏など七人に表彰状と記念品が贈られました。最後には、参加者一人、ひとりが「町の木」にもなっている杉の苗を植えて日程を終了することに決まりました。会場は、悪天候のため取り止めとなり、関係者にとっては少し残念な雨の植樹祭でした。

10月1日 国勢調査



ことしは国勢調査の年です。国勢調査は、国の最も基本的で大規模な統計調査です。五年に一回、十月一日に国民すべての方を対象に、ふだん住んでいる場所で世帯ごとにとまどめて調査します。この結果は、国はもちろんです。都道府県や市町村の地域社会に直結する行政に役立つ基本的な資料とされます。

生活改善の拠点完成

脇野町農家組合

集団転作など、農業経営が地域ぐるみで知恵を出し合って計画的にすすめる必要があらわれない時代をむかえて、各地域で集金施設の見直しが行われています。

そんな折、いち早く脇野町農家組合(樺沢泰二組合長)が「生活改善センター」(写真)を完成させ、先月二十四日に竣工式が行われました。



完成した脇野町生活改善センター

地道に地域の防犯活動

鳥越支部に表彰状

五月九日、与板警察署で開かれた「与板地区防犯組合連合会」の総会の席上、町防犯組合鳥越支部(奈良場一郎代表)が、防犯活動に功勞があったとして表彰されました。

鳥越支部は、地域の防犯はまず明るい家庭からと、五十二年から毎月二十日を「家庭防犯の日」に定め、家族ぐるみで防犯意識の高揚を図る一方、各種の会合などを通じて防犯活動を積極的に推進してきた努力が認められたものです。